

食べる・話す・笑うための口腔セミナー

厚生労働省の資料によると生活機能の向上に関する選択的サービス(運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上)のうち複数のプログラムを組み合わせた実施した場合の方が、それぞれ単独で行ったプログラムに比べて、要介護度の軽度化の割合が高く重症化の程度の割合が低いという改善成果が確認されています。

□口腔機能向上サービスは口腔機能の改善ばかりでなく生活自立度の改善や生活意欲の向上を促すということも明らかになっています。「健康な歯でモノを食べる」から最近では「健康な口から飲み込む事が出来る」に広がっています。ただ普段は当たり前に行っている「飲み込む」という働きが、なかなか難しいのです。

介護予防や、知識の向上を図る啓発活動!!



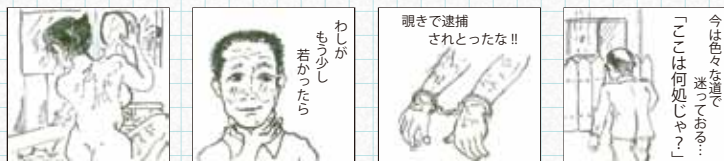
きは口・鼻・気管が塞がり空気の逃げ道をなくして嚥下圧を上げ、反射により飲み込むことができず、つまり、口・鼻・気管が塞がらないとモノを飲み込むことが出来ないのです。では実験です：口を開けて舌を前に出して唾を飲み込んでみてください。前記の状態では絶対に出来ないと思います。この「塞ぐ」という運動は舌や喉のいるいるな筋肉が順序良く働くことによつて、はじめて上手に出来るのです。この筋肉のどれかの動きが悪くなったりすると「飲み込む」という事が困難になり、場合によっては食道に入らず気管に入ってしまう。

まあって肺炎を起こすことがあります。(誤嚥性肺炎といいます。) ACTデンタルクリニックでは、デイサービス・グループホーム・施設等でレクリエーション形式の楽しいセミナーを開催しています。健口体操(深呼吸から首や肩のストレッチ・舌と頬の体操・パタカラ体操・唾液腺マッサージ)や紙風船を使ったトレーニング、発声トレーニングなどです。このセミナーの中で行われていることが、食べること・話すこと・笑うことに繋がっています。なお、介護スタッフの方にも専門的な研修を様々な形で行っていきます。



高齢者様とのセミナー風景

ドクター秀で 四コマ劇場



スタッフ編集後記

1月は数十年に一度の大寒波に見舞われ、皆さんも交通渋滞等で大変だったと思います。我々も急遽休診にしてしまい申し訳ありませんでした。少し雪の中散歩してみたところ、子供等は雪を楽しみはしゃいでいる姿を見ましたが、その後ろで凍えそうな姿で腐れた顔のママさんが印象的でした。普段はオシャレをしていると思われるママさんもあの寒波では、オシャレも関係なく腐れてフードを被ったエスキモーの様な出で立ちを見ると、昔テレビで「おすぎとピーコ」のおすぎが「オシャレは辛いものだ」と言っていた言葉を思い出して「その通りだ」と思い笑ってしまいました。最近では毎日お風呂でユミンの「春よこい」を聞いてママさんの為に春を待つ2月の僕です。

ACT デンタルスタッフ紹介



医療法人イムズ ACT デンタル博多 歯科衛生士 八木 千紗都

私は歯科衛生士になってすぐ一般的な歯科医院ではなく、病院へ通院困難な患者様に携わる訪問歯科を選び就職しました。学生の頃、高齢者施設で実習をさせて頂く機会があり、一般的な歯科医院での診療と比べより深く患者様と関わる訪問歯科に楽しさとやりがいを感じたからです。特に私はお話をすることが大好きなので、診療の中で患者様とたくさんお話しし、日々楽しくお仕事をしています。訪問歯科では歯科治療だけではなく患者様のお話に耳を傾けることも大切な治療の一つだと考えています。”病は気から”とよく言

いますが、気持ち一つで物事は大きく変わっていくと思います。歯科治療への不安や恐怖を少しでも緩和し、訪問することで患者様に喜んで頂けるような歯科衛生士になれるように、これからも笑顔を保ち皆さんの患者様とお話をしていきたいと思っています。